

## 商店街の空き店舗を活用したチャレンジショップの運営 ～チャレンジショップ「カラース」～

### 1 商店街等の歴史・沿革

飯能銀座商店街は、西武池袋線飯能駅北口通りと駅前が交差する一方通行の市道に面した商店街である。大小様々な商店、色々な業種の店が集積し、飯能市の玄関口に相応しい賑わいを見せている。

商店街活動も、イベント、売り出し、リサイクル活動、高齢者サービスなど多彩である。また、飯能スタンプ会のスタンプ事業でも中心的な役割を担っており、青年部の活動も活発であることから、新たな街づくりにより飛躍が期待される商店街である。

### 2 取組を実施するに至った経緯

商店街に賑わいを取り戻そうと、空き店舗対策の一環として、飯能銀座商店街青年部の有志でNPO法人フラップ飯能を立ち上げた。起業をめざす人たちが起業の第一歩を踏み出すために空き店舗を格安で提供するものである。

### 3 取組の内容及び成果・効果

飯能銀座商店街では、個性的なお店が出店する話題のスポットとして空き店舗に女性起業家限定のチャレンジショップ『カラース』\*を開設している。

店主はすべて女性で、現在は編み物教室、アジア雑貨・洋服、和装小物、フラワーアレンジメント、パッチワーク・手作り工房、ニットソーイング等を取り扱っている。

手づくり品を販売する店が多いが、洋服や小物等の仕入れ販売も一部行っている店もあり、現在6店舗区画で全てショップは埋まっている。チャレンジショップ全体は約30坪で1区画の広さは1～3坪。入口中央にテーブルが設置され、打ち合わせや教室が開催できる共有スペースもある。月2～3回程度、手編みやアートフラワーの教室を開催されるなど、地域の交流の場としても活用されている。

オープンから約6年間で卒業生は20人。うち独立開業した人は4人である。開業者は商店街内に2人（化粧品、手づくり洋服）、入間市（雑貨）と日高市（エステ）に各1人が出店した。



\*平成17年11月(プレオープン)、平成18年2月1日(正式オープン)。

### 4 ここがポイント！

- ★ 起業を目指す人たちに起業の第一歩を踏み出すための空き店舗を格安で提供する。
- ★ 行政からの補助金を活用  
飯能市役所からオープン時に2年間の補助を受けた。補助対象は改装費やチラシの印刷費など。
- ★ 自律的な運営を目指した取組  
ショップは元化粧品店の空き店舗を活用したもので、地元NPOが立ち上げたものであるため改装は看板、ドアなど最小限にとどめている。チャレンジショップの運営は厳しいが、直近期では軌道に乗り始めた。